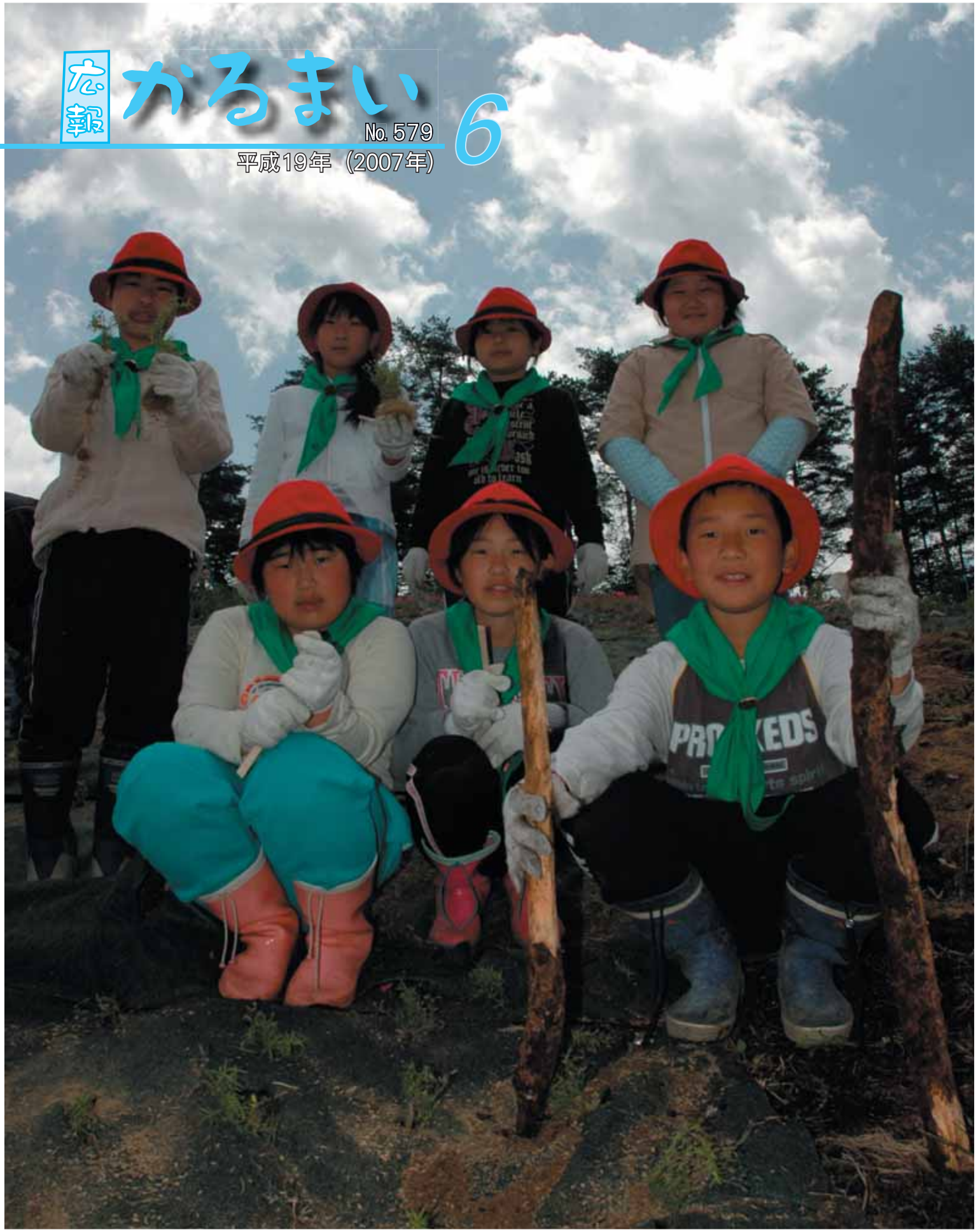
広報 かるまい
No. 579
平成19年（2007年）
6



今月の主な内容

町民意識調査結果の概要……２～４
１８年度予算の執行状況……６～７
日脇吉郎さんに藍綬褒章……８
新入園児を紹介……10～11

昨年植えられたツツジが初々しい花を見せるハートフル・スポーツランドで、今年のグリーンデーが開催されました。パークゴルフ場の新コース名の「さくら」をテーマに芝桜の苗5,000本を植栽。花と緑に包まれたハートフルな公園づくりが進められています。

（写真は、５月２６日にハートフル・スポーツランドを会場に開催された第２４回軽米町グリーンデーに参加した観音林小自然愛護少年団の子どもたち）

地域活動には人材の育成を望み 町民主体の町づくりに厚い期待

協働・参画事業として実施されたユイコのケアドーの道づくり作業

町では、平成十九年三月に町統計調査員を通じて町民意識調査を実施しました。今回は「協働・参画」と地域活動をテーマに、町内に在住する四百七十二人を対象に行いました。そのうち八二・四％にあたる三百八十九件の有効回答をいただきました。調査結果の概要をお知らせします。

「協働」って何だろう？

①町民と行政が相互の理解と信頼をもとに、目的を共有し、積極的に連携・協力して地域づくりを進めて課題の解決を図っていくこと
②町民の主体的な参加によって、地域や行政の課題の解決に取り組むこと
③町民と行政が同じ方向を向いて、一つの目標達成のために力を合わせていくこと　など

町では、平成二十二年度までの町総合発展計画・後期基本計画を策定し、町づくりを行っています。この計画を進めるにあたっては、「住民と行政との協働によるまちづくり」を基本に取り組むこととしています。

これまで、クリーンアップデー（町内一斉清掃）や、グリーンデーでの植樹、ユイコのケアドー事業による地域道路の整備など、町民の皆さんの協力のもとに実施されています。

町ではこうした取り組みをさらに広げていくため、本年度「協働と参画」による町づくりを進めるための指針として「町づくり基本方針」を策定することとなっています。

今回の町民意識調査では、この基本方針の策定に先立ち、町民の皆さんと行政とが連携し力や知恵を出し合う地域づくりについて、調査を実施しました。皆さんのご協力ありがとうございました。

町では、今回の調査結果などを参考資料としながら、協働・参画のまちづくりや基本方針を策定することとしています。

質問内容と回答結果の概要は、次のとおりです。

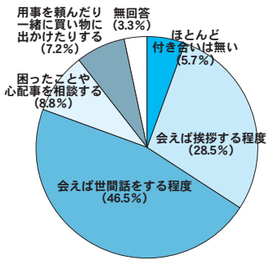
（協働参画に関する調査は三ページ、町施策への要望・身近な問題・住みやすさ・買い物先の調査は四ページにそれぞれ掲載）

調査対象者
　町内在住者472人（永久選挙人名簿登録者から20分の１を無作為抽出）
調査方法
　町統計調査員による訪問留め置き調査
調査日：平成19年３月４日
回収状況：有効回収数　389件
　　有効回収率　82.4％

【協働・参画に関する調査】

【問】近所とどの程度お付き合いがありますか？

近所づき合いの7割があいさつや世間話程度



近所の人との付き合いの程度は、「会えば世間話をする程度」が四六・五％で最も多く、「挨拶をする程度」（二八・五％）と合わせて全体の四分の三を占めています。

また「ほとんど付き合いは無い」との回答も五・七％ありました。

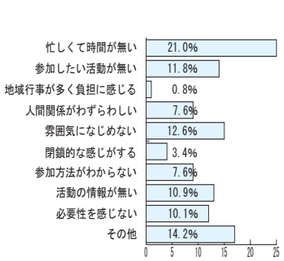
年齢別では、五十代以上になると、相談ごとや用事を頼んだりするとの回答が増える傾向にあります。

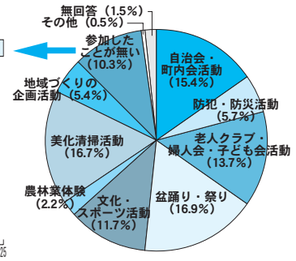
【問】どんな活動に参加したことがありますか？

清掃活動と祭りへの参加が多い傾向に

活動への参加内容については、「盆踊り・祭り」が一六・九％で最も多く、次いで「美化清掃活動」（一六・七％）、「自治会・町内会活動」（一五・四％）と続いています。

また「参加したことが無い」が一〇・三％あり、その理由として「忙しい」、「雰囲気になじめない」、「参加したい活動が無い」などが多くを占めています。

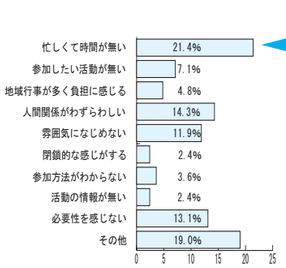


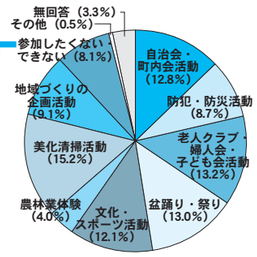


男女別に見てみると、男性が参加する機会が多いのは、「自治会・町内会活動」（一六・九％）、「美化清掃活動」（一六・五％）、「盆踊り・祭り」（一六・二％）が上位を占めています。女性では、「盆踊り・祭り」（一七・六％）、「老人クラブ・婦人会・子ども会」（一七・四％）、「美化清掃活動」（一七・〇％）の順となっています。

【問】今後、参加したい地域活動は何ですか？

今後も現在の活動に携わりたい傾向





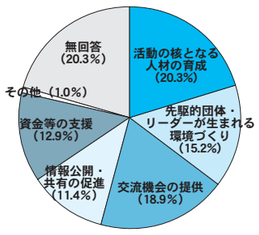
今後参加したい活動については、現在参加している活動内容とほぼ同じ傾向となっています。

ほかには「文化・スポーツ活動」や「防犯・防災活動」、「地域づくりの企画活動」への回答が多くなっています。

また、男女別に見てみると、男性は「自治会・町内会活動」（一五・二％）が、女性は「老人クラブ・婦人会・子ども会」（一六・八％）への関心が高くなっています。

【問】地域活動へ参加するには何が重要だと思いますか？

中心となる人材と交流の機会を望む声

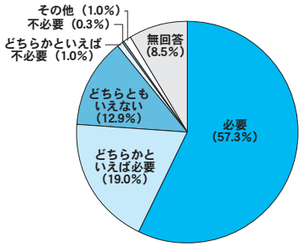


地域活動への参加で重要と思うことは、「活動の核となる人材の育成」が二〇・三％で最も多くなっています。次いで、「交流機会や場の提供」（一八・九％）、「先駆的団体・リーダーが生まれる環境づくり」（一五・二％）となっています。

男女別では、男性が「活動の核となる人材の育成」（二三・三％）が、女性では「交流の機会や場の提供」（二二・三％）の回答がそれぞれ最も多くなっています。

【問】町づくりを町民と行政が協働で進めることについてどう思いますか？

7割超が協働の必要性を感じる



町民と行政が協働で進める町づくりについては、「必要」と回答した方が五七・三％で最も多く「どちらかといえば必要」（一九・〇％）と合せると七六・三％の方が必要性を感じています。

また「不必要」と「どちらかといえば不必要」は、合わせて一・三％でした。

老後と医療への関心は依然高く 住みよさと買い物先は町内が上昇

【町施策への要望、身近な問題、住みやすさ、買い物先に関する時系列調査】

老人福祉対策へ依然高い要望

町政全体で特に力を入れてほしい施策については、「保健医療」（四一・七％）が最も多く、次いで「老人福祉対策」（四〇・四％）、「産業振興」（三三・四％）、となっていて、この三つの分野に回答が集まっています。

前回調査と比較すると、保健医療が約九ポイント、老人福祉対策が約五ポイント上昇。年代別では、二十代から五十代は産業振興、六十代は保健医療、七十代以上は老人福祉についてが最も多い回答となっています。

身近な問題では老後へ高い関心

日ごろ身近な問題として関心を持っていることは、「老後」（四六・〇％）、「物価・所得」（一九・三％）、「医療」（一七・五％）と続いています。

また、前回調査と比較すると「老後」と「医療」への関心が高くなっていて、高齢化とともに老後と医療への不安が伺えます。

住環境・買物先とも高齢者層が町内、若年層が町外傾向に

「町の住みやすさ」については、前回調査と比較して大きな変化はなく、「非常に住みよい」と「まあまあ住みよい」が「非常に住みにくい」「まあまあ住みにくい」を上回っています。

住居地については「現在のところに住み続けたい」が七一・二％で前回調査よりやや増加しました。年代が高くなるにつれて住み続けたい傾向が、また若年層ほど転居したい回答が多くなっているほか、二十代では「わからない」が最も多い回答でした。

買い物先については、「町内でほとんど」が増加し、「ほとんど町外で」が減少するなど近年懸念されている町外傾向への歯止めが伺えます。

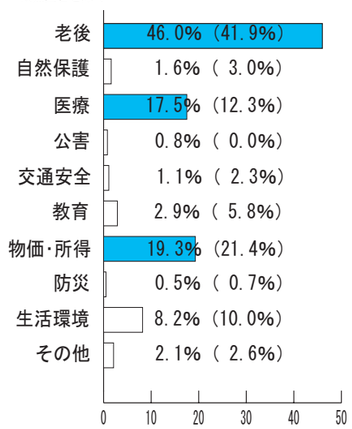
また、若年層ほど「町外」志向が高く、高齢者ほど「町内」での買い物をする傾向に変化はありません。

町外で買い物をすると回答した方の地域別では、八戸市が四六・一％、二戸市が四五・七％とこの二地域で九割を占め、次いで久慈市が五・〇％となっています。

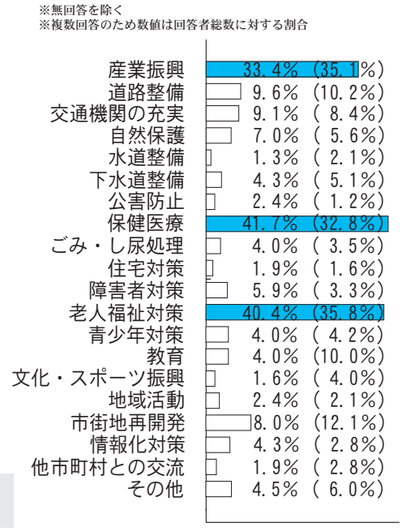
保健医療と老人福祉、産業振興施策への期待が増加

※（　）は前年度調査結果

■身近な問題の関心は？
※無回答を除く

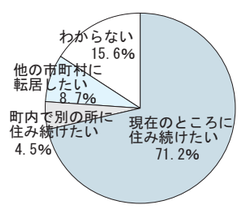


■町政で力を入れてほしい施策は？
※無回答を除く
※複数回答のため数値は回答者総数に対する割合

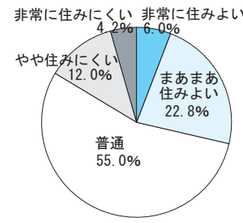


住居地と買い物先は町内志向がやや増加

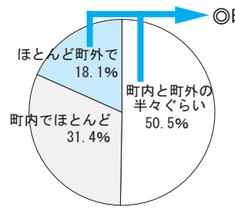
■現在住んでいる所に住み続けたいですか？



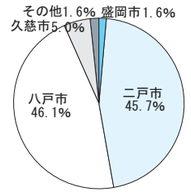
■軽米町は住み良い所ですか？



■普段はどこで買い物しますか？



◎町外はどこで買い物をしますか？



町重点課題への支援を 達増知事に直接要望

企業誘致と雇用の確保
和牛繁殖農家の育成強化
園芸産地の確立への支援
中高一貫教育の充実強化

達増知事（右）に町の現状説明と要望を行った山本町長（左）

知事と市町村長との意見交換会が五月二十二日、二戸地方振興局で開催され、山本賢一町長が達増拓也県知事と意見交換を行いました。

県北・沿岸振興対策として、地域の課題や要望を各市町村長から直接聞く目的で、県が開催したもの。町からは企業誘致による雇用の確保、大規模和牛繁殖農家の育成強化、ホウレンソウなど園芸産地の確立、中高一貫教育体制の充実強化などについて、現在の町の取り組みとともに山本町長が説明しました。

達増知事は「第一次産業の育成・振興は県の重要課題と考えている。キャトルセンター（牛集団管理施設）の整備と運営への支援も進めていきたい。企業誘致は八戸地域を視野に入れた取り組みも必要。軽米高校の中高一貫教育も成功にもっていきたい」など県の考えを示しました。

山本町長は「国・県に頼らない自立を基本にした町づくりを進めているが、県南地域との格差が生じているのが現状。補助率のアップなど、県としても本町をはじめ県北沿岸振興に力を入れてほしい」と要望しました。

チャレンジデーに 7,327人 が参加

昨年に引き続き二回目の参加となった「チャレンジデー2007」が五月三十日に開催されました。本町では合計で七千三百二十七人、町人口一万千三百九十四人（平成十九年二月一日現在の住民基本台帳）の六四・三％の方が参加し、金メダルを獲得。対戦相手の埼玉県小鹿野町の参加率四四・八％を上回り勝利を収めました。

軽米町 64.3％
VS
小鹿野町 44.8％

親子で参加した軽米幼稚園ミニ運動会

午後９時過ぎまで続いた集計作業

物産交流館では軽スポーツを実施

チャレンジデーは、五月最終水曜日の午前零時から午後九時までに、十五分間以上、体を動かした人の参加率を競い合う住民参加型のスポーツイベントで、日ごろから体を動かし、健康づくりにつなげることが大きな目的です。

チャレンジデーへ向けた準備・運営は、実行委員会（会長＝山本賢一町長）を組織し、町体育指導委員が中心となって進めてきました。

当日には、ゲートボール大会など町内各地で事業所、学校、各種団体などが参加イベントを開催。参加者は楽しみながら、体を動かしました。

参加率を競った対戦相手の埼玉県小鹿野町は、参加者六千五百三十二人で、参加率は四四・八％。

一方、本町は七千三百二十七人の参加で参加率は六四・三％となり、金メダルの獲得と小鹿野町を上回り二年連続で勝利しました。

これからも、日ごろから体を動かす機会をつくり、健康づくりに励みましょう。

ゲートボール大会には町内外から200人が参加

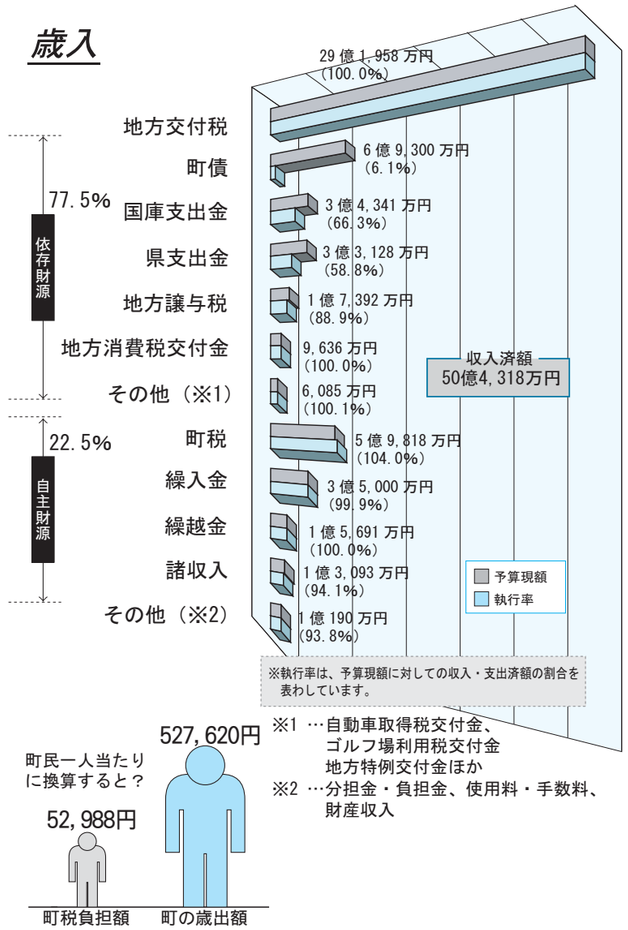
町の家計簿を公表

平成19年3月31日現在の収入と支出の執行状況をお知らせします

町では、一般会計など町の予算の収入と支出の状況を町民の皆さんに知っていただくために、一年のうち上半期（四月から九月まで）と年度末（三月末まで）の二回、財政状況をお知らせしています。皆さんが納めている町税、国や県からの補助金、交付金などで賄われている町の予算について、平成十九年三月三十一日現在の執行状況は次のとおりです。

予算額は59億5,631万円

（平成19年３月31日現在）



※1 …自動車取得税交付金、ゴルフ場利用税交付金 地方特例交付金ほか

※2 …分担金・負担金、使用料・手数料、財産収入

一般会計

一般会計は、当初五十四億七千八百万円でスタートし、上半期で二回の補正（二億五千八百二十七万円の増額）を、下半期では五回の補正（二億二千四万円の増額）を行い、総額は五十九億五千六百三十一万円になりました。

☆一般会計の補正措置

当初より約4億8千万円増

●10月補正【専決処分】

専決処分により、補正予算第三号で三千九百五十万円を増額しました。内容は、十月七日から八日の大雨災害による災害復旧事業査定設計書の作成業務委託料などです。

●10月補正【第30回臨時会】

補正予算第四号で千四百六十二万四千円を増額しました。内容は、前記の大雨による町道の修繕料など災害対策事業が七百四十万四千円、統合小学校建設用地工作物・立木等補償金三百二十二万円などです。

●12月補正【第31回定例会】

補正予算第五号で二千八百九十二万六千円を、第六号で三億六千九百二十八万六千円をそれぞれ増額しました。第五号の主な内容は、町営下向川原住宅用地取得費千八百三十二万六千円など。また第六号の内容は、前記十月の大雨による災害復旧事業です。

●3月補正【第33回臨時会】

補正予算第七号で二億三千二百二十九万七千円を減額しました。内容は、老人保健医療特別会計への繰出金三千八万四千円の増額ほか、整理予算として歳出の各科目の不用額を減額したものです。

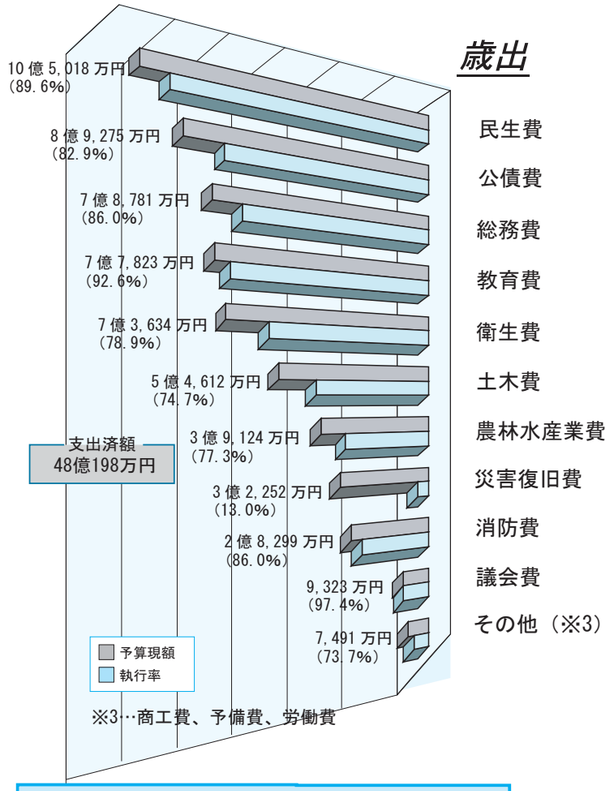
☆予算の執行状況

歳入85％歳出81％を執行

三月三十一日現在、歳入予算の執行率は予算額に対して八四・七％（昨年同期八七・六％）、歳出予算の執行率は予算額に対して八〇・六％（昨年同期八七・二％）となっています。詳しくは、上記各グラフを参照ください。

なお、歳入と歳出の執行率は、年度末（三月三十一日）までに収入・支出額が決定しても、入金や支払いが四月一日から五月末までに行われるものがあるため、例年三月三十一日現在での執行率は、八〇％から九〇％程度となっています。

平成18年度の一般会計



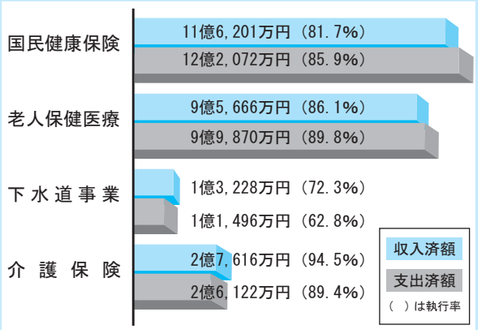
※3…商工費、予備費、労働費

簡易保険などの積立金を活用

皆さんが加入している郵政公社の簡易保険や郵便貯金など積立金の一部は、わたしたちの生活安定や福祉の向上など地方公共団体が行う事業資金として還元融資されています。平成１８年度は次の事業に融資を受けました。

◇郵便貯金からの融資
・減税補てん債　４６０万円

特別会計の執行状況



水道事業会計

水はわたしたちの日常生活に欠くことができないものです。町では、安全で衛生的な水を皆さんに使っていただくため、十分な水の供給と生活環境の改善を図る、町水道の普及に努めています。

今回は、水道事業会計のうち、皆さんからいただく水道料金などからなる収益と、水を供給するために必要な費用の収益的収支の状況についてお知らせします。

■水道事業会計（収益的収支）の執行状況

	科　目	予算額	収入済額
収益	水道料金	1億8,549万円	1億7,853万円
	一般会計補助金	1億7,001万円	1億7,001万円
	その他の収益	120万円	883万円
	合　計	3億5,670万円	3億5,736万円

	科　目	予算額	支出済額
費用	水をつくる費用	1億4,637万円	1億2,052万円
	施設の減価償却	1億2,571万円	1億3,096万円
	借入金利息	7,883万円	7,824万円
	その他の費用	10万円	0円
	合　計	3億5,101万円	3億2,972万円

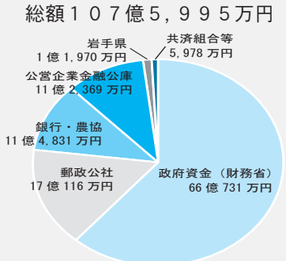
■ 町が所有する財産と借入金の状況

（公有財産には水道事業を含む、平成19年３月31日現在）

公有財産	土地 307万3,195㎡	山林 309万6,419㎡	建物 7万8,622㎡
	無体財産（商標権） ８件	出資による権利金 2億1,150万円	有価証券 5,163万円
債権	貸付金 2億424万円	基金 土地 73万1,795㎡	基金残高 11億8,500万円

■ 借入金（町債）の内訳

総額１０７億５，９９５万円



財政用語ミニ辞典

●歳入（町に入るお金）

地方交付税：町の財政力に応じて国から交付されるお金
町債：大きな事業をするときに国などから借りるお金
繰入金：基金（積立金）の取り崩し金
町税：皆さんが納める町民税、固定資産税、軽自動車税など
国庫（県）支出金：事業に対する国（県）からの補助金
地方譲与税：国税である自動車重量税などが一定割合で町に交付されるお金
諸収入：学校給食費や各種検診個人負担金など

●歳出（町づくりに使われるお金）

民生費：老人福祉費や障害者福祉費、保育園費など
公債費：事業費に充てるために借りたお金の返済金
農林水産業費：農林畜産業の振興や農林道の整備など
総務費：一般事務経費や財産管理、企画費、選挙費など
衛生費：各種検診や保健活動費、ごみ処理費など
教育費：学校・社会教育や生涯学習の推進、施設整備など
土木費：道路や橋、住宅整備や維持管理費など

日脇吉郎さん（町統計調査員）が藍綬褒章を受章

山本町長（左）に受章の報告に訪れた日脇吉郎さん（右）

町統計調査員の日脇吉郎さん（山田、八十一歳）が、農林業センサス調査員として平成十九年春の褒章で藍綬褒章を受章しました。

日脇さんは、農林業センサス調査員として昭和二十五年に初めて従事して以来、平成十七年まで連続して十二回にわたり調査員を務めました。

その間、国勢調査などの各種統計調査員、町統計調査員協議会会長や山田行政連絡区長を務められたほか、旧軽米町森林組合代表監事、軽米町土地改良区総代を務めるなど地域の農林業振興にも広く携わりました。

日脇さんは「褒章の受章を聞いたとき、夢ではないかと驚いた。今回の受章は、町民の皆さんからの信頼と協力のもとに調査員を続けてきた成果で、皆さんに感謝したい」と喜びを話し「統計調査員は、国や地域の発展の礎となる重要な役割を担う縁の下の力持ちです。町の統計調査員の皆さんには、これからも正確な調査に励んでほしい」と統計調査への熱い思いを話していました。

伝達式は五月十六日に農林水産省で行われ、記章を受領した後、皇居にて天皇陛下に拝謁しました。

人権擁護委員の江刺家睦子さんに県連会長表彰

県人権擁護委員連合会長表彰を受賞した江刺家さん

人権擁護委員の江刺家睦子さん（下河南、六十七歳）が五月十七日、岩手県人権擁護委員連合会長表彰を受賞しました。江刺家さんは、平成十六年四月から現在まで人権擁護委員として、特設人権相談所の開設など地域住民からの悩みごとや苦情の相談に対応し、地域住民の問題解決に務められています。

チャリティゴルフで町福祉に寄付金贈呈

㈲勝商事

勝又代表取締役（左）から山本町長に手渡されました

岩手県北と青森県南で飲食店などを展開する有限会社勝商事（勝又和彦代表取締役）が五月二十三日、町に寄付金を贈りました。役場を訪れた勝又代表が「町の福祉事業にお役立てください」と山本町長に手渡しました。寄付金は、十三日にニュー軽米カントリークラブで百二十五人が参加して開催された同社主催のチャリティゴルフ大会の益金。町では町社会福祉基金に積み立て、福祉事業に活用することとしています。

町議会議長に川原木賢一さん副議長に松浦求さんを選出

議長
川原木賢一さん
（車門）

副議長
松浦　求さん
（蜂ケ塚）

五月十日に開催された町議会臨時会で、町議会議長に川原木賢一さん（車門、七十一歳）が再任され、副議長には松浦求さん（蜂ケ塚、五十六歳）が選出されました。

任期は、ともに平成二十三年四月三十日までです。

前町交通指導隊長 日山一夫さんに県知事感謝状

交通指導員を36年以上務め、県知事感謝状を手にする日山さん

前町交通指導員の日山一夫さん（車門、六十八歳）に県知事感謝状が贈られました。

日山さんは、昭和四十五年八月に町交通指導員に任命され、本年三月まで三十六年以上にわたり町内での交通安全教室開催など交通安全の啓発に尽力されたほか、昭和五十七年四月からは町交通指導隊長も務められました。

伝達式は五月二十九日に二戸地方振興局で行われ、日山さんは「三十歳で指導員となり無我夢中で始めたことを思い出す。子どもたちへの交通安全指導とともに、飲酒運転撲滅と自転車マナーの向上などにも力を入れてきた。最近、特にも交通事故が増えとても心配している。これからも交通事故防止に向け各機関と協力していきたい」と改めて交通安全への思いを強めていました。

ピカピカ新１年生に防犯グッズを贈る

防犯グッズが新１年生に贈られました（左から）工藤会長、横井内会長、長興寺大和くん、大久保冴さん

町防犯協会（横井内留次郎会長）と町交通安全母の会連絡協議会（工藤育子会長）が、町内小学校の新一年生七十人全員に防犯ブザーと夜光反射材が付いた巾着袋、防犯用の笛を寄贈したほか、小学校児童全員には交通マナーのイラストが描かれたクリアファイルを贈りました。

五月二日には、横井内会長と工藤会長が軽米小学校（菅原隆二校長、児童二百四十一人）を訪れ、事故や事件に遭わないように気をつけてね」と新入学児童の代表二人に手渡しました。

横井内会長は「見知らぬ人からの声掛け事案が町内でも発生するなど、子どもたちの安全が脅かされている。学校、地域と協力して子どもたちを守っていきたい」と話していました。

県警本部長表彰を１名１団体が受賞

平成１９年春季優良交通団体・交通功労者・優良運転者の表彰式が５月１８日に二戸市で開催され、観音林小学校（吉住俊子校長）と若山松二さん（大町）に県警本部長・県交通安全協会長連名表彰が贈られました。

【県警本部長・県交通安全協会長連名表彰】
優良団体：観音林小学校（吉住俊子校長）
交通功労者：若山松二（大町）
【二戸警察署長・二戸地区交通安全協会長表彰】
優良団体：円子小学校（沢里優子校長）
交通功労者：坂本俊巳（向川原）
※敬称略

生活安全の森

二戸警察署軽米駐在所

来日外国人の不法滞在・不法就労の防止に協力ください

①不法滞在外国人による犯罪が多発しています

不法滞在外国人のほとんどは、日本で働くために在留期間が過ぎたまま滞在しています。

また来日外国人による犯罪の多くが不法滞在者となっています。

②滞留期間を確認しましょう

来日外国人を雇用する際には、「在留期間」が過ぎていないか、また働くことができる「在留資格」があるか、パスポートなどでよく確認してください。

不法滞在外国人は、日本で働くことはできないばかりか、不法滞在外国人など働く資格のない外国人を雇った雇用主も罰せられます。

③情報をお寄せください

「不法滞在」や「不法就労」に関する情報をお持ちの方は、町内の駐在所または二戸警察署（TEL 23－0110）まで、ご連絡をお願いします。

４月の事故と救急の数字

※見直しにより前月の数値と異なる場合があります
※（累計）は１月からの合計

▶町内の交通事故

	当月	（累計）	昨年比
人身事故	０件	（４件）	－３
死亡者	０人	（０人）	±０
負傷者	０人	（６人）	－７
物損事故	６件	（45件）	－１

▶救急車の出動回数
31回（131回）　＋12

▶飲酒運転検挙者はありません

新入園児のお友だちを紹介します

みんなで仲良くしようね！

町内の幼稚園・保育園・児童館に新しく入園したお友だちを、ご紹介します。

（平成19年6月1日現在　敬称略）

軽米幼稚園（16人）

【後列左から】遠藤寛貴　皆川椋太　浦部真望　長興寺月渚
大鳥美樹　駒目羽菜　角田恵理
【前列左から】藤田純矢　早川あめり　福島碧華　大村暦一郎
竹澤光紀　筒井あかり　川原木詩音　須藤大樹　玉田ひより

山内保育園（4人）

【左から】坂上由佳　東山亮太
中家一姫　清水海

笹渡保育園（6人）

【左から】大下光輝　大橋幸音　百鳥あかね
板橋茉那香　板橋雅　一條慶太

観音林児童館（10人）

【後列左から】
山下聖基　福田和将

【前列左から】
神久保武蔵　笹山さくら
大鳥れみあ　太田遥翔
苅谷琴美　福田凌我
池端皇　山下紗織

小軽米保育園（10人）

【後列左から】田名部瑞貴　井戸渕拓巳　井戸渕颯真
田中一成　小林颯太　松田駿　青木颯来
【前列左から】井戸渕大翔　戸田侑音　澤尻灯生

晴高児童館（2人）

【左から】上澤千夏　苅谷愛莉

円子児童館（3人）

【左から】小林祐佳　久保朋也　土佐雛子

軽米保育園（27人）

【上段：後列左から】橋本康平　上野未来　一條僚佑
【上段：前列左から】橋本祥平　菅原双葉　小林穂香　上野来夢
【下段左枠：左から】藤田龍仁　岸里幸作
【下段中枠：左から】工藤優　日向優瞳花　森英明
【下段右枠：後列左から】山下仁楠　江刺家蓮　大澤海斗　中村晴香　紫葉ひなの
【下段右枠：前列左から】中村真歩　工藤章太　上村麗　佐藤佑磨　葛西直樹
寺地就哉　下向珠璃　鶴飼遙　宮本遙多　佐藤孝大

森と水とチューリップフェスティバル

15万本のチューリップが競演 春の香りに包まれた22日間

森と水とチューリップフェスティバルが四月二十九日から五月二十日まで、雪谷川ダムフォリストパーク・軽米で開催されました。遅れぎみだったチューリップの開花は、五月中旬には満開を迎えました。大型連休のなどイベント開催日を中心に賑わいをみせ、フェスティバル期間中には、約二万五千人が来園。およそ十五万本、三十種類が競い合うように咲いた園内は、ダム湖からの風に揺られたチューリップの甘い香りで包まれていました。

５月13日の林業振興まつりでは、木工体験やシイタケの植菌、ニジマスを炭火で焼いて食べれる釣り体験などのイベントを開催。シイタケ植菌では、ナラの原木にシイタケ菌の付いたいたチップを、金づちで打ち込む作業を行いました。

フェスティバル開催前の４月27日に、県立軽米高校（高橋光彦校長）の生徒138人がフォリストパーク内の清掃活動を行いました。周辺道路やチューリップ園のごみ拾い、イベントステージの清掃などに汗を流しました。

ステージイベントが５月３日、５日、13日に開催されました。５日のこどもの日には「ナルト」のキャラクターショーが催され、子どもたちの歓声がこだましました。和太鼓共演会、バンド演奏にも家族連れなどで賑わいをみせていました。

５月３日のフェスティバルの開会式では、恒例の餅まきが行われ、会場のサウザントステージは大勢の人で埋め尽くされました。餅の袋の中に色紙が入っていると特産品が当たるとあって、風呂敷を広げたりと競い合いながら拾っていました。

第９回「森と水とチューリップ」パークゴルフ大会が５月13日、ハートフル・パークゴルフ場で125人が参加して開催されました。

女子では、田澤サツ子さん（門前）が優勝を飾りました。上位結果は次のとおりです。

（敬称略、〇は順位、カッコ内は住所）

【男子】	【女子】
①高坂正夫（三戸町）	①田澤サツ子（門前）
②佐々木正三（八戸市）	②小清水トコ（八戸市）
③田中菊造（仲町）	③境沢せい子（三戸町）

全日本卓球選手権大会（７月・神戸市）へ出場

小笠原涼馬くん（観音林小６年）

小笠原涼馬（りょうま）くん（軽米夢くらぶ所属、観音林小六年）が、五月三日に花巻市で行われた平成十九年度岩手県卓球選手権大会（兼全日本予選会）で見事三位に入賞し、全日本大会への出場権を獲得しました。七月二十七日から兵庫県神戸市で開催される全日本選手権では「ベスト八を目標に頑張る」と小学四年生の時以来の出場に意欲を燃やしています。

軽米雁舞館が黒潮大会２連覇

平成19年度初の優勝旗

（後列左から）橋本修吾くん、竹澤匡哲くん、坂本将士くん（前列左から）中村春奈さん、日山大樹くん

宮古市で五月十三日に開催された第三十四回黒潮少年剣道錬成大会の小学校高学年団体戦で、軽米雁舞館が優勝し二連覇を飾りました。

大会には六年生を中心とするメンバーで構成された、県内のスポーツ少年団三十三チームが参加。強豪がひしめく中で、大将戦の前に勝利を決めるなど安定した試合運びで勝ち進みました。

小学校高学年の部の個人戦では、坂本将士（まさし）くん（軽米小六年）が準優勝、日山大樹（ひろき）くん（同）が三位と健闘。

主将の坂本くんは「今年の雁舞館の目標は、去年勝ち取った優勝旗六本をもう一度持って帰ること。個人戦では、決勝戦を雁舞館同士で戦えるようにみんなで頑張りたい」と一年間の抱負を力強く話していました。

二戸地域の文化財が一目でわかる

カシオペア連邦文化財マップが完成

二戸地区文化財調査委員連絡協議会では、管内４市町村の指定文化財２０９件（平成１８年８月１日現在）の所在を記した文化財マップを作成しました。

Ａ２判のオールカラーで国・県・市町村指定別に、名称と所在地、特徴説明を一覧表にしたものと、地図上に位置が記され写真とともに分かりやすく両面印刷されています。

ご希望の方には無料で提供しています。詳しくは、町教育委員会事務局・生涯学習グループ（☎４６－４７４４）または町歴史民俗資料館（☎４６－４２３２）へお問い合わせください。

平成19年度の軽米町育英奨学生を募集

【申し込み・問い合わせ先】町教育委員会事務局（☎46－4743）

1　対象者（次の全てを満たすこと）

①優良な生徒であること

②経済的理由により修学が困難と認められること

③高等学校、大学または修学期間が１年以上の専門学校に在学していること

④町内に居住している方の子弟であること

2　募集予定人員と貸与月額

区　　分	募集人数	貸与月額
大学又はこれと同程度の学校	合わせて１０人程度	30,000円
高等学校又はこれと同程度の学校		15,000円

3　申込期間

平成１９年６月１３日（水）から６月２５日（月）まで

小中一貫の野球教室スタート

清水さん（右）から２日間にわたり実践的な指導を受けました

少年野球教室が五月三日と四日に軽米中グラウンドで開催され、町内の小中学生約百五十人が参加しました。本年一月に一度指導で来町した日本オリンピック委員会野球競技の強化スタッフを務める清水隆一（りゅういち）さんを講師に、実技指導を行いました。清水さんによる野球教室は本年、全八回実施されるほか、町中学生選抜のKボールチームの監督も務めるなど小中学生を全面的に指導いただく予定。参加した少年球児は、真剣な眼差しで指導を受けていました。

安全運転への気持ち新たに

県立軽米高校（高橋光彦校長、生徒三百十一人）でバイク通学者を対象にした交通安全教室が五月十一日、ハートフル・スポーツランドで開催されました。県高速道路交通警察隊一戸分駐隊の三本木裕美（ひろみ）巡査部長が、白バイで一本橋やS字スラロームなどを実演指導。川原彰仁（あきひと）くん（三年）は「今日教わったことを忘れずに、安全運転を心掛けていきたい」など、参加した二十八人の生徒は運転操作の再確認と交通安全への気持ちを新たにしていました。

三本木巡査部長（手前右）の白バイの後に続きながら運転操作の再確認を行った軽米高生徒

巡って知ろう町の移り変わり

軽米浄化センター（下水道終末処理場）の説明を受ける参加者の皆さん

町内視察バスツアーが五月十日に開催され、町内から三十人が参加しました。見ごろを迎えたフォリストパークのチューリップ園や長倉大橋では景色を楽しんだほか、ミレットパークの手打ちソバの昼食に、ハートフル・スポーツランドではパークゴルフを体験。初めての視察先として軽米浄化センター（下水道終末処理場）の見学もあり、参加者は「いつも見られないところが見れて楽しかった」などと、町の新たな発見を楽しんでいました。

志高く寿大学で開講式

高齢者教室「寿大学」の第三十五期開講式が五月十五日、受講生六十人が出席して中央公民館で開催されました。続く第一回講座では、山本賢一町長が「町政について」と題して講演。「行政改革を進めながら、国や県の補助金を活用し農業振興、雇用創出などの実現をめざす」との平成十九年度の町施策に、受講生は熱心に耳を傾けていました。本講座は十二月までに全十回を予定。修了生となる六講座以上の受講と人生の更なる向上をめざします。

山本町長の町づくりについての講話に熱心に耳を傾けた寿大学受講生

安全・安心な食に休田を活用

休耕田の活用に向けて北いわて農協（中里三雄組合長）が取り組む飼料用米の栽培状況について、パルシステムの組合員による田植えの視察が五月十八日、円子地区で行われました。パルシステムは、東京など一都七県の生協が共同で行う宅配事業で、安全で安心な食材にこだわった商品を取り扱っています。組合員の佐々木偉子（より）さんは「軽米の印象は緑が多いこと。休講田の活用をどんどん行ってほしい」と話し除草方法など熱心に説明を受けていました。

飼料米播種田を視察したパルシステム組合員と円子地区の農家の皆さん

泥んこにも負けず田植え体験

手や足を泥んこにしながら一株一株を丁寧に手植えしました

小軽米小学校（藤田博範校長、児童六十三人）で、田植え体験が行われました。五月二十一日には小軽米地区で五、六年生が、二十八日には小軽米田地区で三、四年生がそれぞれ実施。米田地区の二十八日は雨の翌日で、田んぼに裸足で入ると「冷たい！」などと、大はしゃぎしながら約一時間かけて、父母らとともに古代米を手植えしました。児童は「まっすぐに植えるのが難しかった」と感想を話し「秋の収穫が楽しみ」と実りの秋が待ち遠しい様子でした。

昭和60年10月31日姉妹提携

音更町だより

高齢者と帯広大谷短大生がともに暮らす「ふれあい住宅」の歓迎会が行われました。新入生８人中、最も遠方から来た鹿児島出身の玉城斐美（たまきあやみ）さんは「北海道の生活を知ることや多くの人との出会いに期待しています」と話していました。

二十四人のお年寄りや先輩たちと交流を深めた新入生

健康福祉課
上席主任保健師
中里 早苗

文夫に育つ　元気に働く　健やかに老いる

早起き・早寝でむし歯予防

歯の健康は、体全体の健康に関連があることはよく知られています。歯を失う原因の９割は、むし歯と歯周病です。むし歯は、子どもからお年寄りまで幅広い年代にある病気で、一度むし歯になると治療しても元どおりにはなりません。むし歯が多いと歯周病にもなりやすい状態となります。

町内の保育園・幼稚園児の健康調査によると、むし歯の多い子どもは、夜更かし・朝寝坊の傾向があります。むし歯は「歯垢＋糖質＋細菌＋時間」でできると言われ、これらを防止するためにも、まずは早起き・早寝を心掛けましょう。

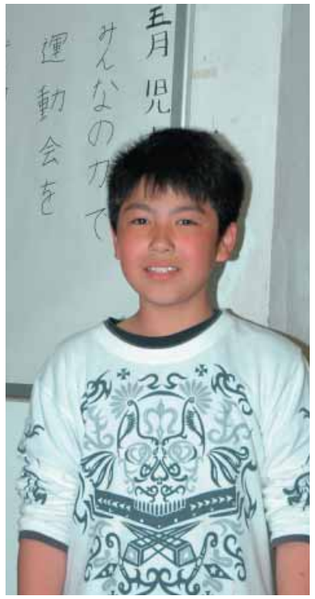
むし歯も歯周病も、とにかく予防が第一です。そのためには適切な歯みがき、歯に良い食事、そして全身の健康管理などに心がけましょう。

また自分の歯で食事がとれるお年寄りは、他のお年寄りに比べ、元気に過ごしているといわれます。具合の悪い歯は早めに治療して、歯も長生きさせたいものです。

笑顔あつまれ！　みんなの広場

■夢・希望・えんぴつ■

児童会長として



観音林小学校６年（高清水）
古舘和希（ふるだてかずき）くん

ぼくは本年度、児童会長になりました。五年生のときから児童会長になりたいと思っていましたが、本当になれるとは思いもしませんでした。児童会長になれて、とてもうれしい気持ちでした。

今年、観音林小学校では、三つのことを重点に取り組みたいと思っています。

一つは、あいさつ運動です。自分から進んで元気の良いあいさつを交わせる学校にしたいです。

二つ目は、ボランティア活動に取り組むことです。今年は、全校で５３０（ゴミゼロ）運動をしたり、低・中・高学年ごとにボランティア活動をしたいです。

三つ目は、なかよし班活動を充実させることです。金曜日の業間時間に全校ドッチボール大会や野球大会などをしてみたいです。

児童会長の仕事を、いざやってみるととても難しく、しかも責任重大なので大変でした。初仕事をしたときもそう思いました。今でも、まだ自信のない所もあります。

でも観音林小学校のリーダーとして、やらなければならないことや、やってみたいことを一つひとつ見つけて、自分なりに一生懸命頑張っていきたいと思います。

今月の雑穀献立

グリーンモチもちライス

考案者の
松山ミヨさん
（下増子内）

【材料】４人分
- 米……１カップ
- もちきび……１カップ
- アマランサス…大さじ１
- 水……２カップ
- 塩……小さじ１
- 酒……大さじ２
- 砂糖……大さじ１
- 枝豆……１００ｇ
  （塩……小さじ１）
  （みりん……大さじ１）

【作り方】
①枝豆は、たっぷりの熱湯に塩を入れて茹でたら、冷水で冷やし、豆だけを取り出し、塩とみりんを混ぜたものにつける
②米、もちきび、アマランサスを30分水につけた後、塩、酒、砂糖を入れてよく混ぜ、炊く
③炊き上がったら①をよく混ぜてできあがり

今月の俳句

北光吟社　四月例句会

春雨やトタンの屋根に音立てて　永井きよの
この村の舘の謂や黄水仙　三上千栄女
剪定を頼み今年の梅満開　渕沢鉄馬
桐の花俳句の世界広がれり　国久黄実
記憶だけありて種物見つからず　千葉紅園
帳尻を合せる春の寒さとも　松村英子
庭先のカタクリ咲いて友偲ぶ　川島由蔵
薫風や心はずみし峠越え　早川慶子
東菊亡き母偲ぶ花として　中野とき
りんごに施肥おえて安堵や春なかば　端川石造
どんよりと陸奥の山波黄砂降る　古里裕子

我が家の人気者　すこやかさん

恥ずかしがり屋さんのえりちゃんですが、名前のとおりとってもお笑いが大好き。バカ殿様とエンタの神様の時間は、夜更かししてでもお笑いの勉強に励んでいます。最近のお気に入りは、何にでも「っこ」をつけて話すこと。「お母さん、買い物っこに行くの？」などと笑顔で聞いてきます。

荒川笑璃（あらかわえり）ちゃん（２歳１０カ月）
（軽米駒木）清美さん・美智子さんの長女
愛称：えり
（悪いことをしたときは「えりこ」）

古文書（こもんじょ）で見る軽米の歴史 80

～看病断り（かんびょうことわり）～

江戸時代の武士は、家族、特に父母の病気のときは「看病」「介護」の願書を藩に提出し、許可を得てその看病に当たった。その届を「看病断り」と言った。

元禄十四年十月十八日、及川惣十郎は、「軽米に母が居るので往復四日の御暇をもらって、明日出立します」と、藩に「看病断り」を提出したことが藩日記に記されている。知行地を持っている武士は、知行地に別荘である田屋を持っていた。元禄十四年は、夏中やませの寒冷な風が田畑に当たり、穀物に一切実入りが無かった。このような飢饉が予想される不順な年なので、惣十郎の母は軽米に滞在していたと思われる。

離れた場所で家族が病気になると、武士は休みをもらい看病にあたった。病気が長引くと延期願いが出された。村方の百姓の場合は、何年も続く飢饉により老人や子どもが死に、小家族が多かったが、当時は知行主の所に村方から奉公人を出す決まりがあり、奉公人の親が病気になり農業ができなくなると、奉公人は暇を取り、実家に帰らなければならない。「看病断り」である。このような場合、知行地の村方では、代わりの者を必ず出すことになっていた。また藩では、体力の優れた者を陸尺・小者などとして村方から選び江戸へ上らせたが、家での働き者を失うので辞退する者、また江戸へ上っても看病断りを出し村に帰る者も少なくなかった。（町古文書解読会）

「村方警衛帳」

◆プロフィール◆

【氏名】
Shawn MacDonald
（ショーン・マクドナルド）
【国籍】カナダ
【生年月日】
1982年6月9日生　25歳
【略歴】
ゲルフ大学卒。2006年８月３日から町の英語指導助手。趣味はスキー。

ショーンのかるまい日記

Angela: Hello Shawn, how have you been?
アンジェラ：こんにちは、ショーン。元気？
Shawn: Hey Angela, good thanks. It's been a busy month.
ショーン：元気だよアンジェラ。今月は何かと忙しい月だったんだ。
Angela: How was your trip with your friend from home?
アンジェラ：カナダから来た友達との旅行はどうだった？
Shawn: Melissa and I had a great time. She came to Karumai for a few days before we traveled down south. I was even able to bring her to school with me while she was here. She really enjoyed meeting everyone. It was hard for her to adjust from the jetlag though!
ショーン：素晴らしい旅だったよ。旅行に行く前、メリッサは軽米に２～３日いて、ぼくが一緒に学校に連れて行ったんだ。彼女は皆に会ってとても喜んでたよ。まだ時差ボケで大変みたいだったけど。
Angela: Where did you travel after visiting Karumai?
アンジェラ：軽米のあとはどこへ旅行に行ったの。
Shawn; We visited Hiroshima, Kyoto, and Tokyo by train. We had excellent weather and saw some great things. I think the best part of our trip was visiting Miyajima. What a beautiful place!
ショーン：新幹線で、広島、京都、それから東京。天気もすごく良くて、素晴らしい場所がいっぱい見れたんだ。中でも一番素晴らしかったのは宮島だね。何てきれいな所なんだろう。
Angela: I'm glad to hear that you had a good time!
アンジェラ：それは良かったわね。
Shawn: Yes, we couldn't have asked for a better vacation. Melissa has since gone back to Canada, but she wanted everyone she met in town to know how much she appreciated their kindness and hospitality while she was here. It really was a highlight!
ショーン：うん、あれ以上の休暇は無いだろうね。メリッサはカナダに帰ったけど、軽米で会った人たちがとても優しくしてくれたことに、とても感謝してたんだ。何よりもそれが今回の休暇で最高の出来事だったと思うよ。

観音林小自然愛護少年団のみんなも参加したグリーンデー当日は晴天に恵まれました

今回の作業は、この芝桜の苗を植え込みます

小さくてきれいな花がパークゴルフ場一面に咲くのを願い

斜面で固い地盤で作業はたいへんでしたが、みんなで力を合わせた１日でした

お知らせ 情報 Information

裁判員制度について上映・説明会を開催

盛岡地方裁判所二戸支部では、近い将来実施される裁判員制度についての説明会を開催します。お気軽に参加ください。
▶日時：7月13日(金)
　　午後1時30分～4時40分
▶会場：盛岡地方裁判所二戸支部（二戸市福岡字城ノ内4-2）
▶募集人数：先着20人
▶申込締切：7月10日（火）
【問い合わせ先】盛岡地方裁判所二戸支部（☎23－2591）

陸自岩手駐屯地を一般公開します

陸上自衛隊岩手駐屯地では、創立50周年記念行事と施設の一般公開を行います。自由に入場できますので、お気軽にお越しください。
▶開催日時：６月17日(日)
　午前８時30分から午後３時
▶会場：岩手駐屯地（滝沢村）
▶内容：記念式典、最新装備による訓練・展示、戦車・ジープの搭乗体験、駐屯地音楽隊による音楽演奏など
【問い合わせ先】陸上自衛隊岩手駐屯地（☎019－688－4311）

６月は不正改造車排除運動月間です

国土交通省では、6月1日から30日までの1カ月間、「不正改造車を排除する運動」を実施しています。車の不正改造は、暴走行為や過積載など交通秩序を乱し、大気汚染や騒音など環境問題につながります。不正改造車についての情報は、岩手運輸支局（☎019－637－2912）までご連絡ください。

障害者技能競技大会アビリンピック開催

第5回岩手県障害者技能競技大会（いわてアビリンピック2007）を開催する社団法人岩手県雇用開発協会では、パソコンや木工技術など、大会への参加者を募集しています。
▶申込期間：7月25日(水)まで
▶対象者：障害者手帳所持者の方で満15歳以上（平成19年４月１日現在）の方
▶参加料：無料
▶開催日：9月2日(日)
▶会場：県立産業技術短大
【問い合わせ先】社団法人岩手県雇用開発協会（☎019－652－8080）

久慈養護学校を公開 学校へ行こう週間

県立久慈養護学校では、授業や校内の見学など一般公開する「学校へ行こう週間」を次のとおり実施します。
▶日時：7月9日(月)から13日（金）までの9時から15時まで
▶場所：県立久慈養護学校（久慈市侍浜町堀切10-56-46）
【問い合わせ先】久慈養護学校（☎0194－58－3004）

北方領土返還に向け標語を募集します

北方領土問題対策協会では平成19年度の標語を募集しています。ふるって応募ください。
▶募集期間：9月30日(日)まで
▶応募方法
①はがき1枚に1作品を記入
②電子メール（hyougo@tk.hoppou.go.jp）でも可能
【問い合わせ先】同対策協会（☎03－3263－7691）

新規高卒者を対象の求人受付が始まります

ハローワーク二戸では、6月20日（水）から、来春の高校卒業予定者を対象にした求人の受け付けを始めます。事業主の方は、お早めに求人申し込みをお願いします。
【問い合わせ先】ハローワーク二戸（☎23－3341）

二戸広域行政事務組合議会の臨時会を開催

ごみ処理や介護保険などを行う二戸地区広域行政事務組合議会の臨時会が開催されます。今回は、議長・副議長の選出と監査委員の選任が行われます。傍聴できますので、事前に事務局までお問い合わせください。
▶日時：7月17日(火)10:00～
▶場所：二戸地区広域行政事務組合会議室
【問い合わせ先】同組合事務局（☎23－7772）

登記簿謄本請求など郵便局ＦＡＸが終了

盛岡地方法務局二戸支局と軽米郵便局との間で現在行っている、専用ファクリミリを利用した登記事項証明書（登記簿謄本・抄本）の交付申請受付サービスは、平成19年６月29日で終了となります。
今後は、軽米郵便局に備え付けの申請書にて郵送での請求ができるほか、インターネットによる請求もできますので、こちらをご利用ください。
▶郵送による請求先：同法務局二戸支局（☎25－4811）
▶インターネット（法務省）
　http://shinsei.moj.go.jp/
【問い合わせ先】盛岡地方法務局（☎019－624－1141）

休日当番医

内科			歯科	
小野寺内科医院（☎33-2505）	一戸町高善寺	６月17日（日）	阿部歯科クリニック（☎25-4182）	二戸市福　岡
斉藤産婦人科医院（☎23-2505）	二戸市石切所	24日（日）	菅原歯科医院（☎27-3301）	二戸市金田一
小原内科医院（☎23-3410）	二戸市石切所	７月１日（日）	曽根歯科医院（☎27-3108）	二戸市金田一
藤田内科（☎38-2772）	二戸市浄法寺	８日（日）	堀米歯科医院（☎46-2927）	軽米町本　町
二戸クリニック（☎25-5770）	二戸市石切所	15日（日）	森川歯科医院（☎23-6361）	二戸市堀　野

税のワンポイントメモ

税務職員（高校卒業程度）を募集

【問い合わせ先】二戸税務署（☎23－2701）

仙台国税局では、バイタリティあふれる職員（高校卒業程度）を次のとおり募集します。
国の財政を支える税務職員に、あなたもチャレンジしませんか。
●受験資格：昭和61年4月2日から平成2年4月1日に生まれた方
●１次試験日：9月9日（日）
●試験内容：（1次）教養、適正、作文、（2次）面接、身体検査
●申込受付期間：6月26日（火）から7月3日（火）まで
●申込書請求先：二戸税務署または仙台国税局（022-263-1111）

町税の納期限
（７月２日まで）
町・県民税１期
早めに納付ください

戸籍の豆知識

３００日問題

【問い合わせ先】役場・町民生活課（☎46－4735）

これまでは「離婚後300日以内に生まれた子は婚姻中に懐胎したものと推定する」（民法第772条2項、一部省略）により、この期間に生まれた子供の父親は、実際の父親にかかわらず母親の元夫とみなしていました。平成19年5月21日からは、医師による離婚後の懐胎である証明書があると、前述の推定を受けない出生届ができるようになりました。

図書館だより
― 今月の新着図書 ―

【児童書】

「せかいのはてってどこですか？」

作：アルビン・トゥレッセルト
絵：ロジャー・デュボアザン

自分がすんでいる井戸が、世界の全部だと思っているかえる。ある時、その世界のはてを見ようと井戸の壁をのぼり、見た世界のはては・・・

「ロイヤルバレエスクール・ダイアリー全８巻」

著：アレクサンドラ・モス

イギリスの名門バレエスクールを舞台に思いやりと友情にささえられ、夢に向かってひたすら努力する少女エリーの感動物語。

【一般書】

「身の回りの法律トラブル対処法」

著：河野順一

お金のいざこざ、男女のもつれ、消費者トラブル、住まいのもめごと・・・。泣き寝入りしないためのマル得対応術を紹介。

「らくらくやせる雑穀・玄米ダイエット」

著：小清水裕子

簡単で美味しく、しかも低カロリー。自然にやせながら、からだや肌の調子も整えられるダイエットにチャレンジしてみませんか。

図書館ひろば

◎日時：６月２３日（土）
　　10:00 ～ 11:00
◎会場：旧生活文化博物館
　　（町立図書館となり）
◎対象：小学生、幼児
参加をお待ちしています！

町のこよみ・かるまいカレンダー

6月　June

16	土	春季学童野球大会【ハ】 さつき展【公】（～17日）
17	日	基本健診（日曜健診）【環】9:30～11:30受付
18	月	基本健診【笹渡農業構造改善センター】 9:30～11:30、13:00～14:30受付
19	火	基本健診（夕方健診）【小軽米生活改善センター】 14:00～16:00、17:30～19:00受付
20	水	基本健診【牛ケ沢農業構造改善センター】9:30～11:30受付 【米田農業構造改善センター】13:30～14:30受付
21	木	基本健診【ふ】9:30～11:30、13:30～14:30受付 あのなっす相談所【老】10:00～15:00
22	金	基本健診【ふ】9:30～11:30、13:30～14:30受付
23	土	図書館ひろば【図】10:00～11:00 にこにこ広場【軽米保育園】9:30～11:30
24	日	第14回ちびっ子健康マラソン【ハ】9:00～ 夜間と休日の納税相談【役場・税務会計課】～26日
25	月	基本健診【大清水公民館】9:30～11:30受付 【上円子公民館】13:30～14:30受付
26	火	二戸地区法律相談【二戸市役所】10:00～15:00（予約☎23-3111）
27	水	１歳児健診【ふ】13:00～13:30受付 H18年2月～5月生まれ対象 ピヨピヨ教室【ふ】10:00～12:00
28	木	うまっこ教室【ふ】9:30～12:00 あのなっす相談所【老】10:00～15:00
29	金	基本健診【屋敷公民館】9:30～11:30受付 【百目金公民館】13:30～14:30受付
30	土	少年野球教室【ハ】（～7月1日） 県中学生Ｋ－Ｂａｌｌ野球大会【ハ】

7月　July

1	日	
2	月	
3	火	こころの相談【ふ】14:00～15:30
4	水	乳児健診【ふ】13:00～13:30受付 H18年8月、11月、H19年2月、4月生まれ対象
5	木	あのなっす相談所【老】10:00～15:00
6	金	
7	土	少年野球教室【ハ】（～8日）
8	日	町子ども会ソフトボール大会【ハ】9:00～ 基本健診（日曜健診）【ふ】9:30～11:30受付
9	月	
10	火	基本健診【環】9:30～11:30、13:00～14:30受付 二戸地区法律相談【二戸市役所】10:00～15:00（予約☎23-3111）
11	水	ピヨピヨ教室【ふ】10:00～12:00
12	木	基本健診【小軽米生活改善センター】 9:30～11:30、13:00～14:30受付 あのなっす相談所【老】10:00～15:00
13	金	基本健診【高家生活改善センター】 9:30～11:30、13:00～14:30受付
14	土	にこにこ広場【軽米保育園】9:30～11:30
15	日	

（カレンダー中の開催場所については【　】で下記のとおり表示します）
体:町民体育館　環:農村環境改善センター　公:中央公民館　図:町立図書館　病:県立軽米病院　ふ:健康ふれあいセンター　フ:雪谷川ダムフォリストパーク・軽米　ミ:ミレットパーク　歴:歴史民俗資料館　ハ:ハートフル・スポーツランド　運:町営運動場　ゲ:ゲートボール場　野:高校野球場

発行／岩手県軽米町　　編集／総務課
（毎月第２水曜日発行）

〒028－6302　九戸郡軽米町大字軽米10-85
TEL0195－46－2111㈹ FAX0195－46－2335
URL　http://www.town.karumai.iwate.jp/

町営鶴飼牧野で馬の放牧が5月15日に行われました。この春生まれた子馬とその母馬は、手綱をほどかれると全速力で牧野を駆け回っていました。一足先に放たれた黒毛和種やホルスタインとともに、秋深まる11月ごろまで伸び伸びと放牧されます。

冠婚葬祭　４月届出分
＜敬称略＞

おめでた

下増子内　増尾　翔（ますお　しょう）（耕一）
下円子下組　泉山叶多（いずみやま　かなた）（茂利樹）
早渡　瀧澤竜ノ介（たきさわ　りゅうのすけ）（秀吉）
蛇口　西舘　悠（にしだて　はるか）（敏則）

おしあわせに

馬場　敏治（屋敷）
永井　恵子（上新町）

佐々木和寿（向高家）
安藤　弘子（桜山）

榿澤　隼人（下増子内）
亀田佳代子（北上市）

おくやみ

民田山　安藤淺次郎（79歳）
上増子内　中野マツエ（88歳）
門前　日向ミ子（89歳）
上野場　平内正一（59歳）
大清水　兼田喜一郎（67歳）
山口　中家正一郎（77歳）
高家　舘下竹志（74歳）
仲軽米　松本幸男（43歳）
上晴山　小野寺勝三（80歳）
本町　古川トメ（85歳）
横枕　古舘サヨ（94歳）
松ノ脇　吉岡トキ（84歳）

●人の動き　＜平成19年４月30日現在／町民生活課調べ＞

男　5,531人（－5）／女　5,723人（－7）
合計　11,254人（－12）／世帯数　3,747（0）
※（　）は前月比

転入　29人（82人）／転出　34人（193人）
出生　5人（21人）／死亡　14人（62人）
※（　）は１月からの累計

ほっとひといき／編集後記

新入園児の撮影で、見知らぬおじさんの突然の登場に表情の固まる子どもたち。特にまだ幼い子は、思うがままにあっちを見、こっちに動きなかなかカメラを見てくれません。そんな中、笑顔の多さで選んだ１枚をご覧ください。

広報担当になりたてのとき取材先で知り合った当時の学生と偶然再会。立派な看護師になり、結婚する話しを聞き時の流れの早さを痛感。「広報いつも楽しみです」との言葉には広報疲れも吹き飛ぶ力をいただきました（鶴飼）